

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5	3	2	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	8	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	4	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①個人ファイル、申し送りノートを見て本人の情報を知る。そこで理解できない点はケアマネジャーから説明を受けている。内服薬に関しては事前情報と持参されたものを照合して確認している。

②家族・介護者のニーズを意識してお話をお伺いしている。

③自分のご利用者の立場だったらどのような声かけ・接し方をされたいか?ご利用者の気持ちを常に考えるようにしている。

④サービス利用当初は職員が声かけを行い、不安をとりのぞくような配慮を心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①勤務時間が違うため全体ミーティングを行うのは難しい。一部の職員だけに伝わって全体に共有されていないことがある。ぶっつけ本番のような状況が多い。情報イコールADLや環境のみとなり、その方の人生(出生や生い立ち等)についての情報がない。コミュニケーションや会話になるものが乏しい。

④職种的にご家族との接点がありません。間にご利用者本人やケアマネジャーを挟んでの関係となる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新規訪問、毎月のモニタリング、送迎時(特に夕方送り)にケアマネ、送迎職員側からコミュニケーションを図り、利用者・家族の困りごとや不安、今までの出生や生い立ち等をお伺いする(具体的に何を聞き出すかもリストアップしておく)。毎月、聞き出したいことを利用者ごとに職員から集約しておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	4	8	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	7	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	4	1	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	4	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①本人の当面の目標は何となく理解している。
 ③自宅に戻ったときに自分でできるように、声かけし、日々の動作介助や体操参加への声かけをしている。
 ④職員間で取り組みを共有したり、提案する場もっている。日々の関わりで気づいたこと、疑問に思うことは他職員に相談しアドバイスを受け本人の目標に近づけるような対応をこころがけている。「いつもと違う」変化に気づくため、記録は正確に入力し、他職員の入力した記録もしっかり読み込んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①認知症や障害により本人の「目標や～したい」が分かりづらい場合もある。関わった後、本人の様子・表情などから相手の気持ちを汲み取ることができていない。
 ②本人の「目標や～したい」を分かっているつもりになっているが、それが的を得ているものなのか疑問。
 ③本人がどうして良いか分からない時、現時点での行為しかできない。様子を見ている。
 ④自分だけの経験値、あるいは記録からの情報共有のみでミーティング等での意見交換の場がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者の要望について話し合うため、時間に拘らず空いている時間を活用することによってミーティングを継続できるようにする。
- ・自ら発信が困難な利用者とはご家族と相談しながら本人に合った支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	8	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	2	8	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>③介護職と看護職、ケアマネジャーとの情報共有で変化の課題についての気づきがある。</p> <p>④気づいたことはなるべく記録するようにし、他職員が記録した情報も読みようにしている。また実際に介助する際は確認してから行っている。気持ち、体調の変化を感じた際は「他の方の時もそうですか?」と質問し、最近の傾向として捉えるようにしている。</p> <p>⑤本人の状況に合わせた介護、本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援ができています。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①以前の暮らし方を10個以上把握していない。訪問のない方の生活環境はなかなか情報を得ることが難しい。提供された情報のみでそれ以上に発展させていくことはできていない。</p> <p>②本人のができることを全て本人に行ってもらおうと与えられた時間の中では枠に収まらない。</p> <p>④安全を守っていくことに重点をおき、安心につながる情報を十分に集められていない。</p> <p>⑤介護の手間にかかる利用者に対応が集中し、全ての方へのケアが満遍なく出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
定期的な一人の利用者にスポットを当ててミーティングを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	1	10	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	5	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	7	3	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	5	6	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①本人の生活スタイルや人間関係の理解は本人や送迎時にお会いする家族、ケアマネジャーから情報を得ている。今までの生活歴を会話の中からも得ている。
 ②事業所だけで完結したいという視点で利用者に関わっている。
 ③事業所が直接接していない時間も本人がどのように過ごしているか把握できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①ケアマネジャーからの情報が主になっており把握できていない。特に人間関係については把握できていない。
 ③特に一人暮らしの方などは在宅での過ごし方を把握できていない。利用者に伺っても認知症等で話がその都度、変わってしまうので曖昧である。
 ④施設内だけの生活でしか考えていなかったもので、地域のことまでキャッチできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者と地域の繋がりに関しては、ケア24や自治会の広報を通じて、地域の行事やイベントを確認し、家族の協力も得ながら参加の働きかけをする。
- ・毎月のモニタリング訪問において、利用者の生活スタイル・人間関係・家での過ごし方について、本人・家族に確認をして情報収集する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	6	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	10	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	8	2	1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①事業所だけでは支えられない支援は本人や家族に提案している。地域包括支援センターとも連携を図っている。</p> <p>③変化に気づき他職員と情報共有している。本人との会話、バイタル、様子を見て判断材料にしている。日々の変化、気づいたことは記録している。</p> <p>④その日の本人や家族のニーズに合わせて柔軟な支援がきている(通い・訪問・宿泊)。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①「地域の資源」に何があるか、詳しくは知らないので提案ができていない。総合的に生活を考えていなかった。</p> <p>②「通い」「訪問」「宿泊」の状況次第では受け入れ、緊急時の訪問は難しいことがある。</p> <p>③日々の本人の変化を記録から共有できるが時差があったり、見落としてしまうことがある。</p> <p>④本人の変化には気づいていても職員や家族とのすりあわせに時間がかかり、スピーディーに対応できないことがある。余裕がなくて、施設側の都合に合わせてしまったりすることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・各利用者の何を支援すべきかをミーティング用紙を使って、職員が分かりやすいように明確化(リストアップ)する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	1	1	9	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	0	9	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1		1	10	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	3	2	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②在宅医療地域ケア会議に参加している。 ③福祉救済所の避難訓練、上井草の「みんなで灯ろうまつり」に向け灯籠づくりに参加している。 ④地域の保育園の園児たちが訪れた。コロナ禍で人の出入り制限があったが、最近、ボランティアが来てくれるようになり、活動は盛んになりつつある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②その他のサービス機関とは電話対応時以外は関わりがない。自分の職種としては会議、イベントに参加する立場にない。参加した職員から情報共有してもらいたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・会議の参加者は情報を職員全員で共有するため周知を必ず行う。運営推進会議、地域ケア会議への参加が一度もない職員もいるので参加できる機会をつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	3	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	1	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	1	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①良い環境づくりに向けた話し合いや提案ができています。意見は言いやすい環境にあります。理想をもって事業所のあり方を発言しています。 ②③利用者・家族・地域の方からの意見や苦情はすぐに報告して、職員間で話をするなかで考え工夫して対策を実践している。利用者のご近所の方とのコミュニケーションはとっている。 ④ボランティアの受け入れを実施している(傾聴、コーラス等)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④地域に目を向けることが必要な役割だとは知らなかった。必要性を感じていなかった。コロナ禍でもあり、積極的な関わりから遠かったため、協働した取組みは行わなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・まずは決まった職員が地域行事やサロンに参加して顔なじみになっていくことで困りごとや不安が相談できる体制をつくっていく。運営推進会議においても地域住民代表の意見や要望を伺って積極的に取り入れていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日(13:00~13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	2	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	3	7	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	7	2	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①動画視聴も含めた職場内研修への参加を実施。 ②資格取得(介護福祉士、計画作成担当者研修など)を行った。 ③区内の小規模多機能事業所間で定例会を各月実施。情報共有を行った。 ④リスクは常にあることを想定してケアにあたっています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①体験形式の研修は実施できていない。感染予防・虐待防止等の研修を最近受けたが、すでに知識として身に着けていることで役に立っていない。外部研修に参加するだけのモチベーションが持てない。 ②スキルアップのために研修には参加できていない。質の向上のためにはスキルアップは大切だと思いますが日々のケアを最優先したいと考えている。資格が必要だと思うが継続的にとろうという気持ちになれない。自分のやる気の問題だと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ビデオ教材やオンライン研修等を活用して、各職員に必要な研修をリストアップして年間を通じて体系的に実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年6月19日（13:00～13:30）

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	5	7	0	0	12
③	プライバシーが守られている	4	8	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	1	5	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	0	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②③本人の気持ちを尊重している。本人の意に反する援助は行っていない。周りの意識も高く、自分もしっかり振り返ることが出来る。リスクがある利用者も状況を理解し、自分なりに考えケアに当たっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①他職員を見ていてスピーチロックになるのではないかと思う対応もある。なぜスピーチロックに当たるのか、自信がないので、その理由をしっかりと伝えられていない。

②利用者を軽んじている訳ではないが利用者との会話で、第三者が聞いたら不適切と思われる可能性がある（友達感覚）。

⑤ご利用者のいるフロアでの申し送り（排泄のことや情報共有）などプライバシー保護ができていないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・ご利用者への対応については毎月のミーティングにおいて課題提起して対応方法を協議していく。